

9月決算議会、党久喜市議団は、2018年度の一般会計決算認定に市民の暮らしを守る立場で反対しました。

福祉健康関連では

- 1 各地域の高齢者が使う福祉センターが公平ではありません。久喜市は100円の利用料を徴収しますがほかのセンターは無料です。鷲宮福祉センターは壊れたままのお風呂が長い間、そのままにされています。公平なサービスの提供を。
- 2 子ども医療費助成、18年度には21市町村で高校卒業まで拡大。久喜市は中学卒業まで。後れをとっています。
- 3 生活支援（生活保護）では、国により扶助費の引き下げが進められました。548世帯が増収になりましたが、なんと648世帯が減収になりました。

総務関連では

- 1 職員の時間外勤務が改善されておらず、介護保険、保育、生活支援、障がい福祉、市民税などの課で解決が必要です。
- 2 国の言いなりのマイナンバーカードの推進が問題です。住基4情報以外に今後「国保証」としても使用推進するなど、様々なツールにヒモづけする方向です。わずかな便利さよりも、情報漏えいというリスクをはるかに危険です。
- 3 デマンド交通に関しては、市民からも、議会からも改善を求める要望が出されています。もう検討する段階ではありません。市民の暮らしを支える抜本的改善を急ぐべきです。

9月3日から10月2日まで開かれた9月定例会議では、市長提案42件、議員提案1件の議案を審査しました。今回は、一般会計と「幼保無償化」についての要点をお知らせします。



建設水道関連では

- 1 「既存建築物・耐震化補助事業」耐震化診断に結びついたのは3件だけ、余りにも少ない。抜本的対策を。
- 2 「住宅リフォーム助成制度」この制度の実施は、単なるリフォームではなく耐震化事業や浄化槽推進にもつながり、市民生活の安全につながるもの。市の財産価値も高める。
- 3 市営住宅管理については、災害時に緊急対応できる住宅としても重要。急ぎ建て替えを求めます。

教育環境関連では

- 1 学校教育の現場で、改善が遅れています。トイレの洋式化、体育館のエアコンの設置を急ぐべきです。
- 2 農業は、後継者対策として、若者の就労支援、農地の改良事業への支援。農産物のブランド化など「基幹産業」と位置付ける以上、それにふさわしい事業内容と予算の配分が必要です。
- 3 学校給食では、市民は自校調理方式への転換を求めましたが、梅田市長は、巨大給食センター建設を推進しました。結果として市民の期待を裏切ることになりました。



幼保無償化は賛成ですが

9月議会では、10月1日から、幼稚園・保育園に通う3・4・5歳児が給食費を除いて無償化になる条例改正や補正予算が審議されました。幼児保育・教育の無償化は望んでいたことですが、今回は、問題点があり反対をしました。
無償化は、保育の質と量・平等性・安全性を消費税ではなく確保すべきでした。

問題① 所得が低いほど負担が重くなる消費税を原資としていること。もともと保育料が免除されている非課税の方には「恩恵」は無く増税だけの負担となる。今回の無償化では、中高所得者優遇となっている。



問題② 待機児の解決がされていない中、認可施設の増設・拡大、保育士の処遇改善こそすべきであり、今必要な課題解決になっていない。

問題③ 指導監督基準を満たしていない認可外施設も5年間無償となることから、保育資格等が劣悪でも認めてしまうなど、保育の質の低下となりかねない。

問題④ 副食費 4,500 円を新たに保育施設が徴収することになり、保育士の実務が増える。無償化直前には、保育公定価格をめぐり保護者負担を国が示したり、認可外施設では、保育料の値上げが続出しており、制度設計不十分で問題が噴出している。

国政の荒波からもっと市民を守ることを怠ることはできません。

平間ますみ

久喜市本町8-4-1



小中学校体育館に冷房機の設置を

久喜市は、保護者、児童生徒の強い要望に応え、近隣自治体に先駆けて市内小中学校にエアコンの設置を実現させました。この数年の間に気象変動に伴う気温上昇は我々の想像をはるかに超えた状況となっています。その結果、体育などの授業にも支障が出ていることが報告されています。体育館に冷房機の設置を要望しました。

問 教育委員会として、市内小中学校体育館の冷房機設置に向けて検討したことはあるか。

答 災害時の避難所としての機能も有していることから、猛暑対策としてエアコンを整備する必要性は認識しているが、校舎の老朽化対策を喫緊の課題と考えており、多額の費用を要する体育館のエアコン設置については、現時点では考えていない。

要望： 交付金制度等を活用して、早急に実現をすべき。

小中学校のブロック塀 転倒防止策は

問 市内小中学校のブロック塀の安全性を確認する。

答 安全性に問題のあるブロック塀が13校あったが、転倒防止策の設置を実施する等、令和元年6月までに全ての対策が完了した。

石田としはる

栗橋東5-7-2



済生会栗橋病院 移転後の医療施設確保は

問 加須市で2021年10月開業が確定した。済生会は現在地での医療継続することを念頭においているのか。

答 移転後の病棟活用を含め、院長みずから検討し尽力している。

問 「25の病症」は残すとするが、どのような医療施設が考えられるのか。売却する場合、病床はどうなるのか。

答 病床数329床のうち304床を加須市に移転させる。その他は未定である。「病床」は売却対象に成りえない。

問 移転前に結論を出す必要がある。「期限」の協議は。久喜市からはどのように提起しているのか。

答 期限は決められない。市は令和3年10月迄と伝えている。

問 済生会栗橋病院に、今後も支援すべきと考えるが。

答 現在地での医療を継続すれば、内容を精査し支援をしていく

問 「加須済生会病院」への交通手段の確保が求められるが。

答 移転すると病院が遠くなり不便となる。意見交換の場で新病院への交通手段の検討を要望している。

投票したいが投票できない方がいる 投票できる環境づくりを

問 投票弱者とは、どのような方と捉えているか。

答 選挙人だけで投票所に行くことが困難な方。

問 介護を受け困難な方など郵便投票は。先進自治体では「巡回投票所」を運行している。久喜市でも実施すべきと考えるが。

答 郵便投票対象者を、国の審議会では「要介護4から要介護3まで拡大」との提言も。「巡回投票所」は実施しない。

実現に全力！市民の声を届けました！

杉野おさむ

久喜市桜田3丁目7-1-504



子どもが権利の主体である久喜市に。市に児童相談所設置を

問 久喜市で児童相談所への相談件数と児童虐待報告件数は

答 平成30年度は相談627件、児童虐待は316件（延べ件数）

問 民法において「懲戒権」を認めている。「親のしつけ」なら懲戒、体罰が容認されてしまう。市の考えはどうか。

答 法律が明確でなく、懲戒と体罰の判断も困難だ。国が民法の見直しを2年後に向け検討するので、注視していく。

問 久喜市では体罰につながる懲戒を認めるのか、考えを伺う。

答 教育長：言葉も心理的体罰であり、注意して指導している。

要望： 児童相談所を久喜市単独、幸手市、加須市との広域も含めて児童相談所の設置を検討すべきだ。体制強化、連携を求める。

鷲宮神社の大鳥居再建に向けて行政が主導的役割を

大鳥居は参拝客や、「らき☆すた」のファンや地域にとってシンボルだった。再建は地域全体の振興にも大きく寄与する。

問 再建に向け関係者に協議の開始を働きかけてはどうか。

答 政教分離の関係から自治体がそうしたことをするのは、直接金銭の支援をしなくても難しい。

要望： 文化財として指定すれば、市は関与できるはずだ。鷲宮神社一帯を文化財指定することも検討をもとめる。

（菖蒲地域で神社本殿や絵馬が文化財指定されていること、日本人の寛容性が憲法の想定外に広がっていると指摘した）

渡辺まさよ

久喜市所久喜705-3



1 久喜南中学校のプールは、塗装がはげ、タイルがはがれており、ひどい状況から水泳学習ができない。早急な改修が求められているが。

答 改善をしなければならない状態である。これから設計、改修となると来年のプール時期には間に合わない。何らかの対応を検討していく。

2 前議会で、東京理科大跡地の大型物流センターの搬入車両による騒音被害対策を求めた。その後の対応・具体的対策はどのように進めたか。

答 物流事業者に対策を要請した。すぐできる対策として「運行ルールのチラシ」を作成し、テナントに配布。ドライバーに注意喚起をしていただいた。20回の騒音測定調査を行った結果、条例の規制基準値を超えていたので、解決策の相談に応じている。早急な対策を要求していく。

3 東京理科大跡地に建設する「給食センター」の地元説明会で様々な住民要求が出された。真摯に答えるべき。また、今からでもセンター建設は中止し「菖蒲センター」は残し、栗橋地区の小学校で実施している「自校調理方式給食」は残すべきだ。

答 今回の説明会后に、関係する担当部署に伝え、状況確認後、地元区長さんを通じて、各家庭に回覧、お知らせをした。本市における学校給食調理施設の整備方針は、理科大跡地に整備することが最善の策であると考えている。